多目的講義棟が完成し

きまし

) た!!

平

・成最後の卒業おめでとう そしてありがとう。 会長

木村 英雄(S4青森)

が咲く、 節です。 東では梅の花が咲いています。 の会報が皆さんに届くころは、 例年より早い春一番が訪れ、 別れと新しい出会いの季 桜 Z 関

技術や学生生活で学んだ多くのこ されることを願っています。 ございます。大学で学んだ知識と とを活かして、新たな場所で活躍 ん、日本工業大学卒業おめでとう 平成三十年度の卒業生の皆さ

立50周年事業として、昨年3月に 別事業により中庭のビオトープが 整備されました。そして、 ると大学キャンパスの景色も随分 ざいました。物心両面にわたるご 在学中、後援会活動にご理解ご協 と変わりました。まず、後援会特 支援に感謝と敬意を表します。 力を賜りまして誠にありがとうご ご卒業される保護者の皆様には お子様の卒業とともに後援会を 息子の入学式の時と比べ 大学設

ダイニングホール、学生クラブ棟

和42年に設立した大学も52年目に ころあとわずかとなりました。昭

平成最後の後援会活動も残すと

代会と歴々の関係各位の皆様に深 建物です。設立50周年事業にご協 シンボルとなるに相応しい立派な を学生に提供しています。大学の 義棟)が竣工し、新しい学びの場 昨年12月25日に5号館(多目的講 トレビが改築されました。さらに が新築され、キッチン&カフェ \感謝致します。 いただいた後援会、工友会、

援助することを決定しました。 学生の就活に関わる受験料などを た。また、来年度の新事業として 学サイン」の予算案を決議しまし の噴水前に設置する「日本工業大 念撮影ポイントとして正面玄関口 への「フェンス設置補助」と、記 承認されている大学敷地西北境界 れ、学生の学業成就を祈念しました。 学と崇敬会により例祭が執り行わ 大学敷地内に祭られた天満宮で大 2月17日の理事会では、 特別事業として前回の理事会で 近況報告としまして、2月16日に 来年度

周年



棟が昨年12月に竣工し、3月 業のメインとなる多目的講義 にオープンしました。ご支援・ご 大学設立50周年記念建設事 協力ありがとうございました。

事業をしっかり応援していきたい もに歩んだ長い歴史があります と思います。 今後も、 厳しくなっていますが、後援会は に結成されましたので、大学とと 入ります。後援会も大学設立の年 大学を取り巻く環境は益々 大学と共に学生への支援





·スで構成されています。授業での利用以外にも、グ ーションを図る、少人数でレクチャ を受ける、自習する といった学生の多様なニーズに対応でき、**授業時間外の居場所を確保する** ためのスペースが数多く設けられていることも特徴となっています。



ī





R100

出逢いに感謝

川田 敏彰 (栃木県)



き心より感謝申し上げます。 おきまして、ご理解とご協力を頂 の皆様には日頃より後援会活動に 日本工業大学後援会理事、会員

がり、私自身大変成長できました。 多くの人と意見を交わし、異なっ ればとの思いからでした。この間、 為に、少しでも大学のお役に立て て頂きました。役員を引き受けた 長と本部役員としてお手伝いさせ ありがとうございました。 た意見を理解する事で、視野が広 縁あって、2年間、栃木県支部 大学にお世話になる息子の

ります。事業が上手く進行出来る 援会総会に始まり、9月の地域別 長さんと和やかな雰囲気の中、積 議会と理事会を開催しています。 よう、数回の役員会と支部連絡協 学位記授与式、4月に入学式があ 教育懇談会がメインとなり、3月に 特に支部連絡協議会は、各支部 後援会の年間活動は、5月の後



極的に前向きな討議を行い い情報交換の場でした。 楽し

で参加しました。帰りに富山ライト た事が楽しい思い出になりました。 ある岩瀬の町並みを4人で散歩し 奈月温泉で行われ、支部役員4名 レールに乗り、明治時代の船問屋が 7月の学外理事会は富山県の宇

げます。 感謝申し上げます。本学及び後援 会のさらなる発展をお祈り申し上 大変お世話になりました。心より の先生方、後援会本部の皆様には 部の役員の皆様、会員の皆様、大学 最後になりましたが、栃木県支

出会いのきっかけ

金 子 太郎 (東京都)



届きました。元々この手の活動に 就任のお願い」なる書類が自宅に 4年前のある日、 「後援会理事

> オファーそのものを無かったこと 返信もせず、ほったからしにして はまったく興味のなかった私は、 にしたつもりでした。

ざいます~との文書が???する と「アレ、書いて出しといたから」 と、のたまう妻がそこに。 諾下さいまして誠にありがとうご ところが、しばらくして「ご快

基本的に引き籠り体質である私 だったに違いありません。 させるかのような"企み" ば町内会の集まりにムリヤリ参加 を、老後のことを見据えて、いわ 今思えば、生来の出不精であり の一環

のが運の尽き。そこには、方々から集 だけ行ってみようかと思ってしまった 地域でも、ましてや宗教でもなく 愉快な世界が広がっていました。親 った熟年たちが織り成す、奇妙かつ と思いつつも、怖いもの見たさで一度 戚でも、同窓でも、仕事関係でも まったく余計なことをしてくれた



『にっこうだい』と『私 と『私の息子』

金子 篤志 (埼玉県)



幼いころ『にっこうだい』の名前を初 るのは知っていましたから「日光の大 線をずっと北に行くと「日光」があ めて聞いたのは母からでした。東武 宮代町に生まれ育った『私』が、

な関係。 いう、ただ一点だけで繋がった不思議 同じ大学に子供を通わせていると

逃れられませんでした。 差し入れられた数々の銘酒が神々 盛り上がりに一層拍車がかかり、気 が始まると、何だかよくわからない が付くと会場には、各地の支部から しく並べられているのです。もはや そして懇親会という名の飲み会

夫婦で訪れた若杉祭

き、本当にありがとうございました。 で人間関係の幅を広げてくれた4 する父母の皆様、そして教職員の皆 年間でした。理事の皆様をはじめと 様、これまで大変仲良くしていただ 日本工業大学が、伝統と持ち味 兎にも角にも、思いもよらない形

を活かした、唯一無二の大学とし から祈念しております。 て、ますます発展されることを小

> ラーメンを食べに行ったことを覚え を頼って、友達と自転車を飛ばして の食堂で働いている友達のお母さん 生も4年になると自転車で公道を 走れるようになり、『にっこうだい』 学」なのかなと思っていました。小学

は遠い記憶になっていました。 くの街に住み、『にっこうだい』のこと 進み、就職、結婚して、宮代から近 それから、『私』は都内の大学に

のを感じました。 び呼び覚ましてくれました。40年 に当時の面影があり、 ぶりに訪れた大学は、中央の建物 の記憶から『にっこうだい』を再 工大」に入学することになり、 そんな中、『私の息子』が 懐かしいも 私

などを知りました。 き、現在の大学、学生の課題のこと 多くの理事や大学の先生方、後援 をやらせて頂き、理事会などでは、 会事務局の方々と会話をさせて頂 『私の息子』が1年の時から理事

地域別教育懇談会にも参加し、支 員(総務)もやらせて頂き、支部の 『私の息子』が4年時には本部役

年間は、『私の息子』にとっても、 話になりありがとうございました。 部、秋田支部の方々には大変お世 貴重な経験となりました。青森支 部の方々と意見交換出来たことは になりました。 『私』にとっても、人生の貴重な財産 この『にっこうだい』で過ごした4

益々のご発展とご活躍をお祈りい ございました。 大学と後援会の たします。本当にありがとうござ 皆様にはお世話になりありがとう いました。 最後になりましたが、後援会の

間

後援会と歩んだ道のり

雨野 真里 (富山県)



中で送り出したのが、つい昨日の 充実した日本工業大学に行きた ようです。 目標が決まっているならと不安の い。」高校3年の息子に告げられ、 一教員になりたい。教職課程の

械工学インターンシップで9カ月 弓道の全国大会で優勝したことを 皮切りに、3年時には埼玉県の機 実した大学生活を過ごしました。 息子は先生方に恵まれ、大変充

池添教授と北陸支部の地懇で





授の下で学べたことが彼の一生の 礎になるでしょう。 国しました。研究室も崇拝する教 力と逞しい人間力を身に付けて帰 のアメリカ留学を経験し 英語

さくで、毎回為になる情報交換が 満載です。 広がり、教職員の皆様もとても気 では支部の枠を超えて友達の輪が きたのが後援会活動です。理事会 息子の成長とともに私が歩んで

指導して下さる教授に長時間にわ 良かった』と晴れ晴れした気持ち 安が解消され『この大学で本当に たりお話を聞かせていただき、不 に包まれました。 地域別懇談会では、直接息子を

県の支部活動にも参加する機会を ただきました。 本部役員になると夫婦揃って他

く未来を育んでいくことでしょう。 派な多目的講義棟は、学生たちの輝 後援会の周年事業で完成した立

き、この素晴らしい時間を共有し ていただきたいです。 ひ手を挙げて理事になっていただ 全国の後援会会員の皆様にはぜ

> 息子とともに私も日工大を卒業し がとうございました。 た事、ご教授いただいた事、 ます。平成最後の役員になれた事 皆様に出会えた事、お世話になっ に心から感謝申し上げます。 4月から中学の教諭として働く 全て

後援会事始め

村上 悟 (長野県)



席した事からすべては始まりまし 主催の、新入会員説明懇談会に出 憶の3月8日。後援会長野県支部 でとは言え、まだまだ寒かった記 今から4年前の事、 春もそこま

も聞き上手で、調子に乗った私は 長さんも同席でした。役員の皆様 ベラベラと話をした事を覚えてい ループ席で、工友会の長野県支部 私と息子の席は機械工学科のグ

たのはそれから数ヶ月後の事でし これがいけなかった、と分かっ

の支部長さんからの役員就任要請 でありました。根が正直者?の私 ある晩電話のベルが鳴り、

> かばずに支部役員としてスタート は、気の利いた断り文句も思い浮 を切りました。

更に青天の霹靂か本部役員にまで その後、長野県支部長を拝命し、 の方々と知合う機会を得たこと は、よき思い出であります。 も活動する事になり、ここで多く であります。 お声がけ頂き今日に至ったところ

見てみようかな」に変わってゆき れたのも、日工大後援会ならでは ました。こんな気持ちにさせてく を頂く毎に「もう少し奥深い処も った後援会活動でしたが、お誘い 最初は「仕方がないか」で始ま

げます。 様・支部役員の皆様に感謝申し上 れまでに御力添え頂きました先生 方・事務局の皆様・本部役員の皆 にもしっくりとくる言葉です。こ て頂きました」は、まさに今の私 先輩役員の言にもありました



て挨拶 支部総会で支部長とし

2年目になると本部理事として

と思っています。

「学費は1人分で親も学ばせ

各位の御健 益々の御発 学後援会の 展と、会員 日本工業大 りましたが、 最後にな

勝を祈念い

報 恩 謝 徳

井口 克三(群馬県)



の大きな期待、成田学長様を始め 強く思いました。 並々ならぬ思いを肌に感じ、大変心 とした事務局様の大学改革への の間、後援会員・OB様方の本学へ き、感謝の言葉もございません。こ は多大なるご協力・ご尽力をいただ 様、なにより群馬県支部の皆様に ていただいた全国の後援会員の皆 だきました。本部・支部活動を支え 娘も卒業を迎え、私自身は想定外 す。気付けば本学でお世話になった 員の依頼を受けたのが四年前で の気持ちもあって群馬県の支部役 等に参加できなかったことから贖罪 にも本部役員まで務めさせていた 子どもの学校行事やPTA活動

わりの支えがあってこそと実感して さな努力に比べはるかに大きなま の仕事や立場があるのは、自らの小 ものです。この時代を振り返り、今 とって、まさにこの31年は人生その ら平成への変革期に学生だった私に よく耳にしますが、ちょうど昭和か さて、「平成最後」という言葉を

日時:2019年5月19日(日)

会場: 学友会館

催 日

3月 3日(日)

3月 9日(土)

//

3月10日(日)

//

//

3月17日(日)

//

//

//

3月24日(日)

開

総会終了後には、多目的講義棟

2019年度新入会員説明懇談会開催一覧

会 場

催

長岡グランドホテル

富山電気ビルディング

ホテルグランビュー高崎

男女共同参画センター あざれあ

霞城セントラル「紅花樓」

ラ・プラス青い森

清稜山倶楽部

ホテル春日居

ホテル信濃路

ホテル丸治

学友会館

北上市さくらホール

ダイヤモンドホール

ホテルヴィスキオ尼崎

の見学会も行いますので ぜひご参加ください!!

主催名

新潟

北陸

群馬

静岡

青森

蔵王

福島

山梨

長野

岩手

栃木

茨城

沂畿

千葉

謝と御礼を申し上げます。(事務局 りがとうございました。心より感 会活動にご尽力くださり本当にあ 本部役員を卒業される皆様、

出張者

原 渡 施設環境管理課長

鈴木 史朗 総務課長補佐 江原 里織 総務課主任

飯鳥 貴子 総務課主任

山本 好央 財務課長

大塚 竹郎 学生支援課長

初見 範子 就職支援課長

穴井 正洋 教務課長補佐 鈴木 良裕 総務部付課長

古澤 雅仁 教務課主任

林 祐司 総務部長

杉村 京子 総務課長

菅原 有香子 財務課主任

塩入 修 就職支援課長補佐

(国際交流・生涯学習センター担当) 吉田 有美 教育研究推進室主任

小野瀬 香苗 就職支援課主任

田中 大介 施設環境管理課長補佐

がとうございました

の発展と学生たちの活躍を祈念し ともに、日本工業大学のますます

方のご温情に心より感謝すると 結びに、在任期間にいただいた皆

ご挨拶とさせていただきます。あり

員説明懇談会

はないでしょうか。

私も人生半ばを過ぎました。

るか分かりません。ただ、新しい 分がこの言葉をどこまで実現でき

を見つけたような気がします。 代に向けた自分なりの一つの生き方 時代、この言葉が示す人と人とのつ

など、科学の発展が見込まれる新 と」と解されますが、AIやロボット けた恵みや恩義に感謝し報いるこ

ながりが、さらに重要視されるので



福島県支部会場の様子

4月から本学に入学が決定した学

新入会員説明懇談会」は、この

謝徳」があります。「まわりから受

私が大切にしている言葉に「報恩

生の保護者を対象に実施している 説明会です。 後援会支部主催で企画・開

だいております 学を前に安心できたとの声をいた の特長であり、参加した方からは入 ます。アットホームな雰囲気が本会 イスを直接お伝えすることができ 先輩会員や現役学生からのアドバ ているため、同じ経験をされてきた

守っていきたいと思います 生の成長を大学とともに応援し、見 ざまな事業・活動を通じて新入学 重要な役割を担う後援会は、さま - 大学と家庭との架け橋」という

豊かな自然に恵まれた赤倉山荘

'尾崎紅葉・岡倉天心もこよなく愛した妙高山と赤倉温泉'

赤倉山荘は、本学園の学生・生徒用の教育用セミナ としてばかりでなく、現役生、卒業生のご家族の皆様にも憩い の施設としてご活用いただいており、平成29年リニューアルオ プンいたしました。

新潟県妙高高原の麓に位置し、春は新緑、夏は登山、秋は紅 葉、冬はスキー・スノーボードなど四季折々を楽しめます。

特にこれからの春シーズンは、4月下旬~5月上旬にかけて 近郊の「いもり池」で貴重な10万株以上の水芭蕉を見ること が出来ます。また、晴れた日などは妙高山が水面にくっきりとし て映し出されて、とても綺麗です。

新緑に囲まれた赤倉山荘周辺の散策で新鮮な空気に触れ、温 泉に浸かりながらゆっくりとお寛ぎ頂ければと思っております。

宿泊等詳細は、大学ホームページ(センター・付属施設)をご 覧下さい。又、お申込み・お問合せは学生支援課(0480-33-7508)までお願いします。



特別室(ツイン) 妙高山と

相談票をご利用下さい

援会事務局宛にず 就職等のご相談窓口を開いています 右の票(便箋 後援会では会員の皆様にこの相談票を通じて、 」送付下さい。関係部署と連携して、可能なかぎり回 ハガキでも結構です)に相談内容をご記入の上、 学生の成績・生活

答いたします。

相談票	学科学年
אלאטטוי	学籍番号
学 生 氏 名	
会 員 氏 名	
連絡先	TEL